



福徳
女
全

特別
6583



俳諧概要序

いはのうらうらみる鼻^無四め^{ヨツ}田^キを^ノめ^ル仙^ノを^シ
 表^ス秋^ノハ^ノも^ノめ^ル交^ルぬ^ハの^ノめ^ルを^ノ請^フて
 亦^ス々^々と^ス云^フき^ク制^シて^日お^の心^をあ^らせ^や、
 と^一月^を如^しみ^なら^くハ^流の^うた^から^ん
 余^ら大^に日^夫俳^諧の^活健^なる^や實^は流行^す
 め^て實^は流^の子^{した}と^そ一^圓郭^を添^て
 人^を追^ひめ^て走^るま^じし^先走^るもの^却

後^シほ^レる^ルもの^ト追^フて^ハ州^ノ東^ノ流^行の^先ほ^シ
 何^トも^シて^ハ所^ノる^ル者^モ也^トた^リ日^ノに^ハお^シる^ル胸^ノ
 懐^トと^シて^ハし^テお^シる^ルハ^ハり^ノの^先ほ^シて^ハい^ハす^ル
 聖^ハ又^ハあ^リま^シの^俳諧^也題^{して}も^ハす^ル也^ト
 云^ハめ^クか^キも^トも^トこ^トな^シし^是は^集の^大意^也

藍お識



蕪村

牡丹散^てお^シる^ルを^三三^片
 卯^月廿^日乃^阿の^親 几^董
 す^まが^よえ^るあ^や門^をひ^らけ^る
 葺^のそ^とへ^来は^るへ^んぐ^忍 村
 自^らし^街の^樓新^入て[、]
 百^里の^陸地^とる^り也^とす 董

手控 齋 齋 齋 齋 齋 齋 齋
山田の小田乃早稲を刈比
夕月よなれくぼる四十雀
秋をうたひてびり戸な倚
目か^{アタ}い^{イテ}を^テ苦^クさ^サ薬^{ヤク}を^ヲす^スり^リる
當麻へもとの風呂あな又
隣りてまじ色^シのする油^ユり
三尺^サは^ハじ^ジも^モる^ル雪^{ユキ}のそ^ソう^ウか^カれ
村 董 村 董 村 董 村 董 村 董

餅^イ子^コう^ウゆる^ル狼^ウう^ウち^チに^ニー^ーの^ノあ^アれ
兔^ウ唇^{シブ}の書^カり^リそ^ソう^ウは^ハな^ナふ^ク
鐘^イ鑄^ツある^ル花^ハの^ノみ^ミて^テ〜[〜]又^マ髪^{カミ}き^キり
春^ハの^ノゆ^ユく^ク富^{トミ}乃^ノ西^ニに^ニか^カる^ル
能^ノ登^トとの^ノ弦^シ音^ネか^カよ^ヨむ^ムき^キう^ウれ^レ
博^{ハク}士^シい^イう^ウこ^コて^テ時^{トキ}を^ヲ占^シめ^ル
栗^リ原^{ハラ}し^シ馬^{ウマ}倒^タゆ^ユめ^メと^ト鳥^{トリ}啼^ナり
標^{ヒラ}吹^フあ^アる^ル 畷^{ナハチ} 八^{ヤチ}所^カ
村 董 村 董 村 董 村 董 村 董

立河くぬ虹な海間のうちけり
勅使の侍宿ゆく通しと
江は獲るる^{アチカ}鯿の魚の腹赤ま
日いしりーたのくく又あられ隊
見一恋の見おのせと堂供養
はかりにさるるくあーまこ
十六夜乃暗まいさく世のいさき
まこりおぬる番場松本
村 董 村 董 村 董 村 董

おる卑の標組足くぬ鉄乃ぬ
鷹も物もあちくむら居る
崇^{タカ}なる田中^{タカ}の徳与神さいて
既 玄番うんやも負色
祀^{タカ}なるさかた^{タカ}旅番屋に設け
かし^{タカ}なるや^{タカ}ぬを乃なり火
董 村 董 村 董 村 董

舎舎

冬ありとも月骨髄入夜あり
几藎

此句老杜より 寒くよ 腸 蕪村

五里は一居か ことを使者を嘗て

茶の跡く 地はく 井の味 藎

すこ 池啄雀の 歌く 物ら 藎

をち 一 一 疊 藎 藎

二の尾乃 遊記を 能く かくれ 住

七の限り 乃 門 敲く 音 藎

羽のひかに 救の 糧や かく 来也 村

拜きく む 此や しの 浦 人 藎

女狐乃 隠る 恨を 乞ふ 途 村

森う なる かの 竹 簾の かく 藎

いさ せき と けい ふう せき ぬ 村

出船つ ぎ かな 追 風 吹 秋 藎

月前て氣比の山も〜家圍よ
 鹿の来て即す我中の戸々
 支机乃ぞお拂ふ維摩經
 頭痛を思ふよ逢ふ日の歌
 鄙人の妻よとこれ旅のま
 水よぬり〜酒屋一らん
 恙神の相々ぬぬの鶏啼し
 歳暮乃死脚お〜せめる
 村董 村董 村董 村董 村董

投
 入
 十
 八
 七
 六

保昌ヤスチカの任もかばやさぬむ
 いば〜お白し〜山の夜
 お〜雨の垣種とび越る方々
 三ツよ争んで拵あるまむら
 西國乃を形うけぬ小日のれ
 貧〜をき藥の是をや〜り
 片側を理川流る〜能の風
 月の夜ヨ〜ら乃ききいあつる
 村董 村董 村董 村董 村董

仰るる人あき車冷しなスサニ村
 相國の磔片やうはし
 添りしあすう眠うさむつ 村
モタヒ 甕のまのひをくとあ 董
阿修羅
 根継する屋うけの礎の下あま、
 巢つくる蜂の子をいのり 村

安永九庚子冬霜月 搗仙堂梓

麻阿比藤

睦堂形文子母



